
しゅごキャラ！ 1 日限りの姉妹日和(シスターデー)

ユーリ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

しゅごキャラ！1日限りの姉妹日和
シスターデー

【Nコード】

N9708K

【作者名】

ユーリ

【あらすじ】

日奈森亜夢は星名歌唄の頼みで、1日だけ妹になる事にしたので……

聖夜小学校

日奈森亜夢は、いつものように授業を終えて帰宅しようとしていた。

日奈森亜夢

「フウ、やっと終わった・・・」

亜夢は校門に向かう。

亜夢

「あれ？誰がいる・・・」

校門に着くと、ピンク色のボウシをかぶりラフな格好をした少女が亜夢を待っていた。

「待ってたわ、亜夢。」

亜夢

「えと、誰？」

「アタシよ、アタシ。」

少女のズボンのポケットから、イルとエルが出て来た。

イル

「よお！」

エル

「亜夢ちゃん。」

亜夢

「って、歌唄だったの!？」

星名歌唄

「やっと気づいたわね。」

亜夢

「何でそんな格好してるの？」

歌唄

「変装よ、変装。アタシ、アイドルだから・・・」

亜夢

「ああ、そう・・・で、今日は何しに来たの？」

歌唄

「話は何か食べながらにしましょう。」

亜夢

「そだね、ラーメンで良い？」

歌唄

「良いわよ。」

亜夢と歌唄は、歌唄の行きつけのラーメン屋に向かった。

亜夢と歌唄は、ラーメンを食べている。

亜夢

「おいしい〜！」

歌唄

「でしょ？」

亜夢

「で、話って何なの？」

歌唄

「今日は仕事休みだから、あなたに会いたかったのが1つ。もう1つは・・・今日1日だけ、アタシの妹になってほしいの！！」

亜夢

「ええ！妹！？また何で？」

歌唄

「アタシ、亜夢みたいに妹がなくて・・・幾斗は兄だし、唯世は弟みたいなものだし・・・妹がいる亜夢が羨ましいの・・・」

亜夢

「わかった、そういう事ならアタシが今日1日妹になってあげる！」

歌唄

「ありがとう！じゃあ、早速事務所に行きましょう！」

亜夢と歌唄は勘定を済ませると、歌唄の所属する事務所に向かった。

三条プロダクション

歌唄

「わぁ、似合ってるわ亜夢！」

亜夢

「そ、そうかな？」

亜夢は今、エクステをつけて歌唄と同じ髪型になっている。

歌唄

「うん！まるで双子みたい。こういう妹も何か良いなあ。」

亜夢

「そう言われると嬉しいよ。次はどこに行く？」

歌唄

「デパートなんかどう？プリクラも撮りたいし、何か甘い物でも食べましょうよ！」

亜夢

「良いね、行こ！」

亜夢と歌唄は、デパートへと向かった。

亜夢と歌唄は、ソフトクリームを買って食べていた。

亜夢

「甘くておいしい〜」

歌唄

「亜夢はイチゴ味なのね。アタシはチョコミント味が好きなの。」

亜夢

「歌唄のも少しちょうだい!」

歌唄

「い、良いけど・・・亜夢のもちょうだいよ?」

亜夢

「良いよ!」

亜夢と歌唄は、仲良くソフトクリームを食べ合っている。

歌唄

「（あ、亜夢と間接キスだよ・・・）」

歌唄は少し頬を染めていた。

亜夢

「次はプリクラ撮る？」

歌唄

「そうね。」

亜夢と歌唄はプリクラを撮りに行った。

亜夢

「良い写真が撮れたね。」

歌唄

「ええ。亜夢、アタシまだ買いたい物があるから。」

亜夢

「じゃあ、アタシ先に事務所に行ってるね。」

亜夢は走って行く。

歌唄も買い物に向かった。

しかしこの時歌唄は気づかなかった。

亜夢のカバンと自分のカバンが入れ替わっていた事に・・・

亜夢

「〜」

亜夢は楽しそうに走っている。

そんな彼女を、遠巻きに見ている怪しい3人組がいた。

「見つけた、星名歌唄だ。」

「少し髪の色が違わねえか？」

「どうせ一時的に髪を染めてるんだろ。先回りするぞ。」

亜夢は事務所への近道となる路地裏を通っている。

亜夢

「（歌唄にもカワイイ一面があるんだなあ。）」

亜夢はそんな事を思いながら歩いていたために、背後から近づく影に気がつかなかった。

そして、次の瞬間・・・

ガシッ！！

亜夢

「キャッ！？」

亜夢は後ろから影に羽交い締めにされた。

亜夢

「な、何！？」

亜夢を羽交い締めにした影は、素早くハンカチで亜夢の口を塞ぐ。

ガバッ！

亜夢

「うっ！！」

亜夢はしばらくもがいたが、やがて気を失ってしまった。

「ククク・・・」

影は亜夢を背中に背負うと、そのまま走り去った。

それから1時間後・・・

歌唄

「久しぶりに色々買いすぎちゃったなあ。」

歌唄は三条プロダクションに帰って来た。

ガチャ！

歌唄がドアを開けると、留守番していたエルとイルが飛んで来る。

エル

「歌唄ちゃん！」

イル

「無事だったのか！」

歌唄

「無事って、何が？」

歌唄はキョトンとしている。

イル

「さっき事務所にかかってきたんだよ！『あなたの所のアイドルは預かった』って留守番電話が！！」

エル

「私達はてっきり、歌唄ちゃんが誘拐されたんじゃないかと・・・」

歌唄

「ちょっと待って・・・それって、まさか！？」

歌唄は自分のカバンを見ようとして気づいた。

亜夢のカバンと入れ替わっていた事に。

歌唄

「た、大変・・・誘拐されたのはアタシじゃなくて亜夢だわ！！」

イル

「何だと!?!」

エル

「そっいえば亜夢ちゃん、歌唄ちゃんと同じ髪型にしてみましたよね・
・・」

歌唄

「ど、どうしよう、亜夢が・・・」

エル

「歌唄ちゃん、亜夢ちゃんを助けに行きましょう!?!」

歌唄

「ええ!アタシの心、アンロック・・・キャラなり・セラフィック
チャーム!?!」

歌唄はエルとキャラなりした。

歌唄

「イル、亜夢の居場所どこか言ってた?」

イル

「確か北聖夜の廃倉庫だっって言ってたな。」

歌唄

「廃倉庫ね。待ってて、亜夢!?!」

歌唄は窓から飛び出して行った。

北聖夜廃倉庫

亜夢

「ん・・・」

亜夢はうつすらと目を開けた。

亜夢

「んっ、んんっ！？（な、何これ！？手足が動かない！！）」

亜夢は廃倉庫の中に監禁されていた。

亜夢は手足と体をロープでグルグル巻きに縛られ、口にガムテープを貼られている。

亜夢

「んっ、んっ！！」

亜夢はジタバタもがいたが、ロープはビクともしない。

亜夢

「うつ・・・」

亜夢が俯いていると、3人組の男達が入って来た。

「お、目が覚めたみたいだぜ。」

「にしても運が良かったですね、兄貴！星名歌唄が1人で歩いていたなんて。」

「ああ、このチャンスをものにして必ず大金をいただくぜ。」

男達は笑っている。

亜夢は理解した。

自分は歌唄と間違えられて誘拐された事を。

亜夢

「（う、歌唄・・・た、助けて・・・）」

亜夢はガタガタと震えていた。

歌唄はしばらく飛んで、倉庫らしき場所に着いた。

歌唄

「ここね、亜夢がいるのは・・・」

歌唄は倉庫に近づくと、思いつ切り壁を蹴った。

ドン！！

「な、何だ？」

「オマエ、外の様子見て来い。」

男の1人が倉庫の外へと出る。

しばらくして、男が倒れる音が響いた。

ドサッ！

「！？」

倉庫の中に歌唄が入って来る。

ザッ！

「何だオマエ？」

歌唄

「エンジェルクレイドル！！」

歌唄はキレイな歌声で、2人を眠らせた。

「ふぁ・・・」

ドサッ！

歌唄

「亜夢！」

歌唄は亜夢に駆け寄り、拘束を解いた。

ゴソゴソ・・・

バサッ！

歌唄

「もう大丈夫よ。」

亜夢

「う・・・歌唄っ！！！」

歌唄

「わっ！！！」

亜夢は歌唄に抱きつき、泣き出した。

亜夢

「アタシ・・・アタシ・・・とても怖かったよぉ・・・」

歌唄

「ゴメンね、怖い目に遭わせて・・・」

歌唄は亜夢を優しく抱きしめる。

その後、亜夢と歌唄は男達を拘束した上で警察に通報し、男達は逮捕された。

亜夢と歌唄は簡単な事情聴取を受けた後、帰路についた。

日奈森家

亜夢は夜、ベッドで寝ていた。

隣には歌唄もいる。

なぜ歌唄がいるのかというと、せっかくだから泊まっていくと歌唄が言っただからだ。

亜夢

「歌唄、今日は助けてくれてありがとう。」

歌唄

「困った時はお互い様よ。」

亜夢

「あのね、歌唄。」

歌唄

「ん？」

亜夢

「アタシね、姉が欲しいなって思う時があるんだ。姉がいれば、妹は甘えられるでしょ？」

歌唄

「アタシで良いなら、いつでもなっ**て**あげるわよ。」

亜夢

「ありがと、歌唄。大好き！」

亜夢は歌唄の方に向くと、スヤスヤと寝息を立て始めた。

歌唄

「（アタシも大好きよ、カワイイ妹^{あむ}・・・）」

歌唄も亜夢の方に向くと、眠り始めた。

おしまい♪

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9708k/>

しゅごキャラ！ 1日限りの姉妹日和(シスターデー)

2010年11月16日11時29分発行